

■熊ヶ畑地域拠点施設建設基本計画 施設整備方針

機能		基本方針	
屋内	①健康増進機能	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の白雲荘の機能等の代替施設として整備する。 ・バリアフリーに対応した施設とし、身体の不自由な方や介護利用にも配慮した計画とする。 ・地域の世代間交流が図れる空間を創出する。 	
	②コミュニティ機能	研修・集会機能	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の公民館機能と同等程度の利用を想定した規模とする。 ・様々な用途にフレキシブルに対応できる計画とする。 ・健康増進機能と連携できる機能を検討する。
		交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の憩い、交流の場となる空間を確保する。
		防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の公民館（山田地区公民館熊ヶ畑分館）の避難所としての機能を踏襲し、必要なスペースを確保する。
	③地元食材提供機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を提供する飲食スペースを確保する。 ・雨天時にも利用できるようなスペースを確保する。 ・山田活性化センターと連携し、食材の加工や提供等の一体的な活用、円滑な連携が可能な施設配置とする。 ・健康増進機能利用者が立寄りやすく、連携した活用ができるよう配慮した計画とする。 	
④衛生機能	<ul style="list-style-type: none"> ・施設と一体とするなど管理がし易い配置を検討する。 ・災害等の緊急時にも利用可能なトイレ設備を確保する。 		
屋外	⑤イベント・レクリエーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・広場や駐車場を一体的に利用できる配置計画とする。 ・駐車場は、現在の温浴施設（白雲荘）と同程度の利用者数を想定し必要な面積を確保する。 ・地域のイベントをはじめとして多目的に活用できる広場を整備し、各機能（山田活性化センター、健康増進機能）と連携できる配置を基本とする。 	
	⑥防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に災害支援用の車両等の乗り入れが可能なスペースを確保する。 ・災害時の避難や支援活動など多目的に活用できる広場を整備する。 	
その他（共通事項）		<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民に対して、騒音や明るさなどに配慮した施設配置とする。 ・車両と歩行者の動線を明確に分離した施設配置を行い、安全面に配慮した計画とする。 ・地域のランドマークとして機能する施設とする。 ・災害に対応できる構造と温浴施設特有の条件を考慮した構造とする。 ・ランニングコストに配慮した施設計画とする。 ・地域資源を有効活用できる施設とする。 ・森林環境の育成など、地域の課題に応じた活動を行える場とする。 ・山田活性化センターと連携し、地域の活性化や施設全体の利便性の向上に寄与する施設とする。 ・地元運営となることを考慮した施設計画とする。 	